

# 令和元年度第1回川崎市子ども・子育て会議 計画推進部会 議事録

日時：令和元年7月5日(金)18時30分から

場所：中原区役所 502会議室

## ■出席者

委員	和光大学 教授	一瀬 早百合氏
	川崎地域連合 副議長	稲富 正行氏
	鎌倉女子大学短期大学部 教授	佐藤 康富氏
	鷗友学園 特別顧問	柴田 頼子氏
	洗足こども短期大学 教授	坪井 葉子氏
	田園調布学園大学 教授	村井 祐一氏
	東海大学 教授	芳川 玲子氏

事務局	こども未来局総務部企画課長	阿部 克義
	こども未来局総務部企画課担当係長	為我井 直美
	こども未来局総務部企画課担当職員	佐々木 綾也

傍聴者 なし

## ■配布資料

次第

資料1：川崎市子ども・子育て支援事業計画 第4章施策評価シート

資料2：川崎市子ども・子育て支援事業計画 第5章点検シート

資料3：川崎市子ども・子育て支援事業計画 第6章点検シート

## ■開会

事務局からあいさつ

## ■部会長選出

事務局提案により村井会長を推薦。全委員異議なしで村井部会長に決定。

## ■議事

(1)「子ども・若者の未来応援プラン」の年度評価について

○議事(1)について、事務局から資料1を基に概要説明

- 【委員】施策毎に記載されている総合的な評価の表記に対して、子ども・子育て会議からの意見・評価の項目で表記するイメージでよいか。総合的な評価はさらに番号が振られているが、各番号に対しての意見・評価を行うことでよいか。
- 【事務局】そのとおりである。
- 【委員】施策6の総合的な評価②について、市立高校だけを指しているように見えるが、その他の県立や私立高校等については、含まれていないのか。
- 【事務局】市立高校だけである。
- 【委員】市内の市立高校は何校あるのか。そのうち定時制高校は何校あるのか。
- 【事務局】5校である。定時制高校は4校である。
- 【委員】各施策の総合的な評価の文章については、事務局がすべて作成しているのか。
- 【事務局】施策毎に施策所管課を設けている。例えば、施策6であれば教育委員会の施策所管課にまとめていただいている。
- 【委員】「2 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標」において、事務事業に番号が振られているがこの意味は。
- 【事務局】事務事業の番号については、「3 評価 内部評価の結果」の事務事業の番号とつながっている。
- 【委員】50ページ、地域療育センターの総合的な評価の③における記載について、この表記では、よっぽど業務が滞っていて、これまで業務が遂行されていなかったのかなというふうに読めてしまう。
- 【事務局】48ページの計画期間における主な方向性とリンクさせて、書いているものであるので、あくまでも「地域療育の推進」に対する評価であり、通常時業務は適切に行っている前提である。
- 【委員】次回の部会ではどのような流れで進行していくのか。
- 【事務局】今日の御意見を踏まえて一度修正して、また、後日、他の御意見等があればそちらの御意見等も踏まえて修正したものを次回の部会でお示しして、今回のようにまた御意見をいただきたい。
- 【事務局】資料2については、第5章の3項目の取組状況をまとめたもので、今回はイメージ案としてお示ししている。次回までに方向性の項目を記載していく。資料3については、第6章の量の見込みと確保方策の実数、数値を入れている。
- 【委員】資料3については、実績値が目標値に対して少なかった項目を見ていくことになるのか。
- 【事務局】そういう視点でも御意見いただきたい。
- 【委員】これは実績値ということか。
- 【事務局】そうである。

■閉会

事務局あいさつ

以上